

2025 年 3 月 15 日

2024 年度プラズマエレクトロニクス分科会  
春季インフォーマルミーティング議事次第 (報告順)

開催日：2025 年 3 月 15 日 (土) 12:00 大分類意見交換会終了後～  
開催場所：東京理科大学野田キャンパス (講義棟 1 階 102 号室)

書記 (ソニーSS/財前)

1. 春季および秋季学術講演会における分科会の企画について【5分】
  - ・分科内招待講演【石川】
  - ・海外招待講演【呉】
  - ・シンポジウム【長澤】
2. プラズマ新領域研究会報告 (竹内)【5分】
4. プラズマプロセッシング研究会 (SPP-42) 報告 (竹内、金沢)【5分】
3. プラズマエレクトロニクス講習会報告 (松井)【5分】
8. 会報について (財前)【5分】
5. 第 23 回プラズマエレクトロニクス賞選考について (古閑)【5分】
6. 2024 年度会計報告 (古閑)【5分】
7. 2025 年度分科会幹事について (古閑)【5分】
9. その他 (古閑)
  - ・DPS2025との共催について
  - ・ICRP12/SPP44 開催案内
  - ・その他会議案内 ( )

資料 URL

[https://annex.jsap.or.jp/plasma/PE\\_files/2024/PE25springmeeting.html](https://annex.jsap.or.jp/plasma/PE_files/2024/PE25springmeeting.html)



# プラズマエレクトロニクス分科会



- 2. 春秋講演会シンポジウム
- 担当幹事： 石川健治, 古閑一憲, 松井都, 竹内希, 長澤寛規, 新田魁洲, 呉準席
- 退任予定： 谷出敦, 平松亮, 田中宏昌
- 1. 分科内招待講演 (石川)
  - 2023春 堀 勝(名大), 秋 寺嶋和夫 (東大),
  - 2024春 宮島秀史 (キオクシア), 秋 浜口智志 (阪大),
  - 2025春 栗原一彰 (キオクシア)
- 2. 海外招待講演 (呉)
  - 2024秋 Prof. Eun Ha Choi (Kwangoon U, Korea),
  - 2024秋 Prof. Magdaleno Vasquez (University of the Philippines Diliman)
- 3. 秋シンポジウム (長澤, 新田)
  - 2024秋 プラズマ活性溶液とその応用

# 分科内招待講演



- 九州大学 高等研究院 院長
- 九州大学 大学院システム情報科学研究所 教授
- 九州大学 主幹教授

- プラズマ理工学

- 陽成賞、第  
太る御、セ  
膜すた、ル  
Siに粒ま、  
に、子ノ、  
特ノ、示リ  
事、ナ近を  
従す、最と  
に生たる、  
研究、ナ  
研で、ナ  
る中、ナ  
すマ、ナ  
関ズ、ナ  
にラ、ナ  
学、ナ  
工、ナ  
理、ナ  
マシ、ナ  
ズ、ナ  
る、ナ  
ラ、ナ  
プ、ナ  
に、ナ  
ら、ナ  
か、ナ  
年、ナ  
57、ナ  
和、ナ  
昭、ナ



**Naing Thet** (Research Fellow)

Department of Chemistry  
University of Bath

Email [ntt20@bath.ac.uk](mailto:ntt20@bath.ac.uk)



- Wound dressing
- Plasma treated hydrogel

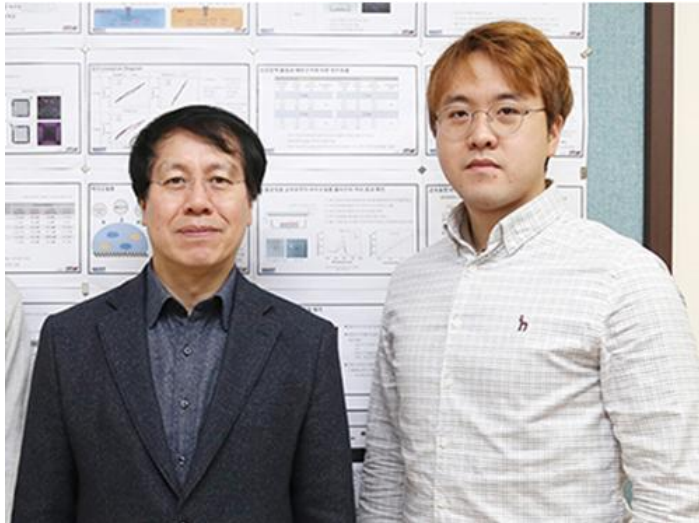


## **Sanghoo Park** (Assistant Professor)

Department of Nuclear and Quantum Engineering

KAIST(Korea Advanced Institute of Science and Technology)

Email [sanghoopark@kaist.ac.kr](mailto:sanghoopark@kaist.ac.kr)



- APP
- RONS in gas and liquid

# 応物2025秋シンポジウム企画 (プラズマ触媒反応)

プラエレ分科会担当幹事：

長澤 寛規，新田 魁洲（田中 宏昌先生，谷出 敦さま）

大分類8代表：

林 信哉先生

# シンポジウム概要

「プラズマ触媒反応が拓く革新的物質変換技術（仮）」

## 【シンポジウム趣旨】

一般に、物質変換プロセスは、反応を推し進めるために多量の熱エネルギーを必要とする。非熱的なアプローチの活用は、このエネルギー消費を抑制し、低炭素で持続可能な物質変換を実現する上で不可欠である。プラズマ触媒反応をはじめとする先進的な物質変換技術はその有望な手段の一つであり、本シンポジウムでは、電場・プラズマ・触媒・電極反応などを融合した物質変換の全体像を俯瞰するとともに、メカニズムや応用例に関するご講演を通じて、今後の課題や展望について議論したい。

## 【シンポジウム構成】

招待講演    ~7件、一般講演 数件



## 候補者・候補テーマリスト

| 研究者   | 所属     | テーマ   | 分類           |
|-------|--------|---|--------------|
| 野崎 智洋 | 東京科学大学 | 大気圧プラズマを基盤とした電子駆動触媒反応                                     | 概要           |
| 関根泰   | 早稲田大学  | 電場印加触媒プロセス  | 概要 (非プラズマ反応) |
| 金賢夏   | 産総研    | プラズマと触媒の相互作用メカニズムの解明                                      | 概要 / メカニズム   |
| 寺本慶之  | 産総研    | プラズマ触媒の反応場解析  | メカニズム        |
| 高草木達  | 北海道大学  | プラズマ触媒反応の機構解明   | メカニズム        |
| 古川森也  | 大阪大学   | 低温プラズマ触媒反応によるメタネーション                                      | メカニズム / 応用   |
| 寺島千晶  | 東京理科大学 | 水中プラズマによる物質(ダイヤモンド)・触媒合成                                  | プラズマ源 / 応用   |
| 上坂裕之  | 岐阜大学   | 高密度基材包囲プラズマによるDLC製膜                                       | 応用           |
| 神原信志  | 岐阜大学   | 大気圧プラズマによるアンモニアからの水素製造                                    | 応用           |
| 都甲将   | 大阪大学   | プラズマ触媒によるメタネーション( $\text{CO}_2 \rightarrow \text{CH}_4$ ) | 応用           |
| 佐々木浩一 | 北海道大学  | プラズマ電解による水と空気からのアンモニア合成                                   | 応用           |
| 桑畑周司  | 東海大学   | プラズマジェットを用いたアンモニアの室温合成                                    | 応用           |



## 2024 年度 新領域研究会 報告

東京科学大学 竹内希

2024 年度は 3 回の開催を予定していたが、2 回の開催となった。

- 第 44 回プラズマ新領域研究会（秋の IF で報告済み）  
「大気中非平衡プラズマの多種多様な応用展開とそれを支える基礎研究の最前線」  
日程：2024 年 9 月 27 日  
場所：対面（北海道大学）および Zoom によるハイブリッド開催
- 第 45 回プラズマ新領域研究会（第 25 回微粒子プラズマ研究会 (WFPP25) と合同開催）  
「プラズマ・微粒子間相互作用の揺らぎのフロンティア」  
日程：2025 年 1 月 16 日, 17 日  
場所：対面（核融合科学研究所）および Zoom によるハイブリッド開催  
プログラム：次ページ

2025 年度は現地（もしくはハイブリッド）2 回，オンライン 1 回の計 3 回を予定

## 第 42 回プラズマプロセッシング研究会 (SPP-42) 報告

SPP-42 プログラム委員長 東京科学大学 竹内希

1. 会議名称：第 42 回プラズマプロセッシング研究会 (SPP-42)
2. 主催：応用物理学会 プラズマエレクトロニクス分科会  
(前回 SPP-41 より、旧 学術振興会 153 委員会による SPSM とは切り離して開催)
3. 協賛学会：プラズマ・核融合学会，静電気学会，化学工学会
4. 期間：令和 7 年 1 月 28 日 (火) ～30 日 (木)
5. 場所：J:COM ホルトホール大分 (現地開催のみ)
6. 参加人数：合計 92 名  
内訳：一般 60 名，学生 28 名，招待 4 名
7. 講演件数：65 件  
内訳：プレナリー2 件 (応用物理学会 辰巳哲也様，東京大学 寺嶋和夫先生)，  
プラズマ材料科学賞 2024 受賞記念講演 1 件 (名城大学 伊藤昌文先生)，  
招待講演 2 件，シンポジウム講演 7 件，一般講演 53 件 (口頭 24 件，ポスター29 件)
8. セッションの具体的運営：  
◎オープニング：SPP-42 プログラム委員会委員長 (プラズマエレクトロニクス分科会副幹事長) 竹内希，現地実行委員会委員長 金澤誠司先生  
◎パラレルセッションにはせず，全ての講演をシングルセッションにて実施  
◎2 日目午前に，特別企画シンポジウムとして，PE 分科会で作成した「アカデミックロードマップ」のお披露目シンポジウムを開催  
◎初日午後に「プラズマ材料科学賞 2024 授賞式」および受賞記念講演を実施 (司会 大阪公立大学 白藤立先生)  
◎3 日目クロージング：SPP-42 プログラム委員会委員長 (プラズマエレクトロニクス分科会副幹事長) 竹内希，現地実行委員会委員長 金澤誠司先生
9. 情報交換会：2 日目講演終了後 参加者人数 33 名
10. コーヒーブレイク：休憩時
11. プラズマエレクトロニクス講演奨励賞 (第 4 回)：21 件の応募，SPP-42 プログラム委員会による厳正な審査の結果，プラズマエレクトロニクス講演奨励賞 (第 4 回) として，令和

7 年 1 月 30 日付けで以下 2 件が受賞決定：

- ・ 八井田朱音（東京科学大学）「セルソーターと誘導結合プラズマ飛行時間型質量分析計を用いた高選択性単一細胞中元素分析」
- ・ 内海亮（東北大学）「電界誘導二次高調波生成法（E-FISH）を用いた大気圧プラズマの時間電界計測」

なお、一次審査として予稿の審査を、二次審査として当日の発表の審査を行った。一次審査は口頭発表 4 名、ポスター発表 5 名の審査員で、二次審査は口頭発表 3 名、ポスター発表 4 名の審査員で審査を行った。

12. WEB サイト運営および参加料徴収関係：田中昭文堂印刷（金沢市）に委託，カード決済を基本（インボイス対応のため，現地委員会は現金にタッチしない方式）

13. 広告出社：合計 12 社様より（1 ページ広告 10 社，1/2 ページ広告 1 社）

14. 決算：ご質問があれば竹内までご一報ください

15. そのほか

- ・ 基本的な運営方針は前回の SPP-41 と同一
- ・ 会計に関しては，代行業者として実績ある田中昭文堂印刷様が，事情をよくご承知，価格もリーズナブルゆえ，選定
- ・ 大きな黒字運営の主たる要因は，広告出社企業様が，多数出稿してくださったこと
- ・ 現地実行委員の負担をできるだけ低減させるため，名札は各自手書きなど，アナログが使えるところはアナログで対応
- ・ 特別企画シンポジウム「アカデミックロードマップ」については，古閑先生，白藤先生，各分野の主査をご担当された先生方と，プラ核からお招きした佐々木徹先生のご協力で開催できました。ありがとうございました。
- ・ 次回 SPP-43 は大阪公立大学 呉先生を現地実行委員長として開催予定

SPP-42 の報告の最後に，以下の先生方の献身的なご協力に，心より感謝申し上げます。

【プログラム委員会委員】（敬称略）

松井都（日立製作所），全俊豪（青山学院大），田中宏昌（名古屋大），谷出敦（SCREEN HD.），呉準席（大阪公大），田中学（九大），村上朝之（成蹊大），内田儀一郎（名城大）

【現地実行委員会委員】（敬称略）

委員長 金澤誠司（大分大），副実行委員長 市来龍大（大分大），実行委員 川崎仁晴（佐世保高専），川崎敏之（西日本工大），大島多美子（長崎大），田中学（九大）



- ・半導体プラズマとプロセスの基礎
- ・電氣的・光学的プラズマ計測技術の基礎と応用
- ・熱プラズマの基礎と応用
- ・先端エッチングプロセスにおける原子層レベル制御技術
- ・機械学習を活用したプラズマプロセスの解析と制御

関根 誠 先生

占部 継一郎 先生

渡邊 隆行 先生

西塚 哲也 先生

鎌滝 晋礼 先生

|                 | 人数 |
|-----------------|----|
| 総参加人数（講師の先生方含む） | 88 |

現地開催のみでしたが非常に多くの参加者数となりました。

講師の先生方、ご参加頂きました皆様、幹事の皆様に、心より感謝申し上げます

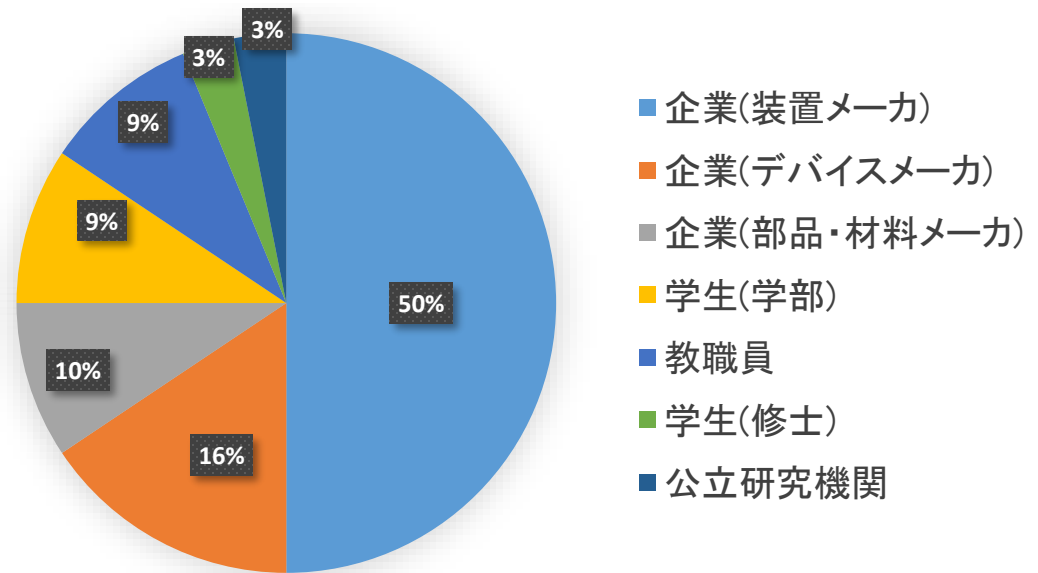
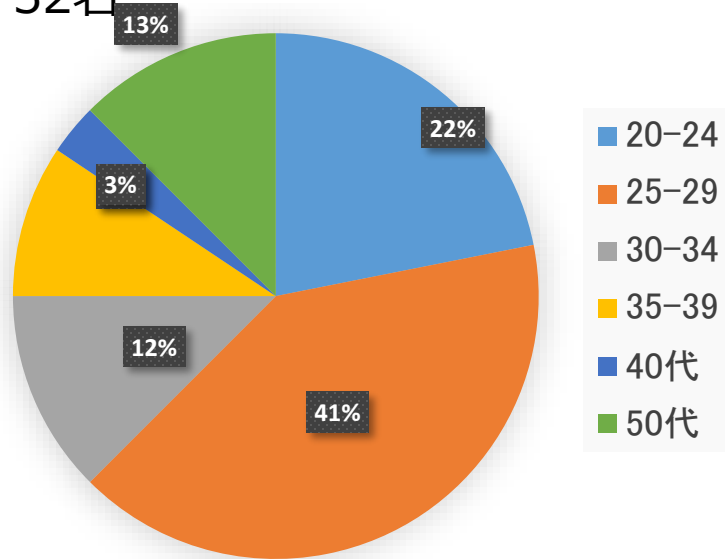
# 第35回プラズマエレクトロニクス講習会 アンケートまとめ

報告者 パナソニックホールディングス株式会社

天野 智貴 (アマノ トモキ)

# 概要

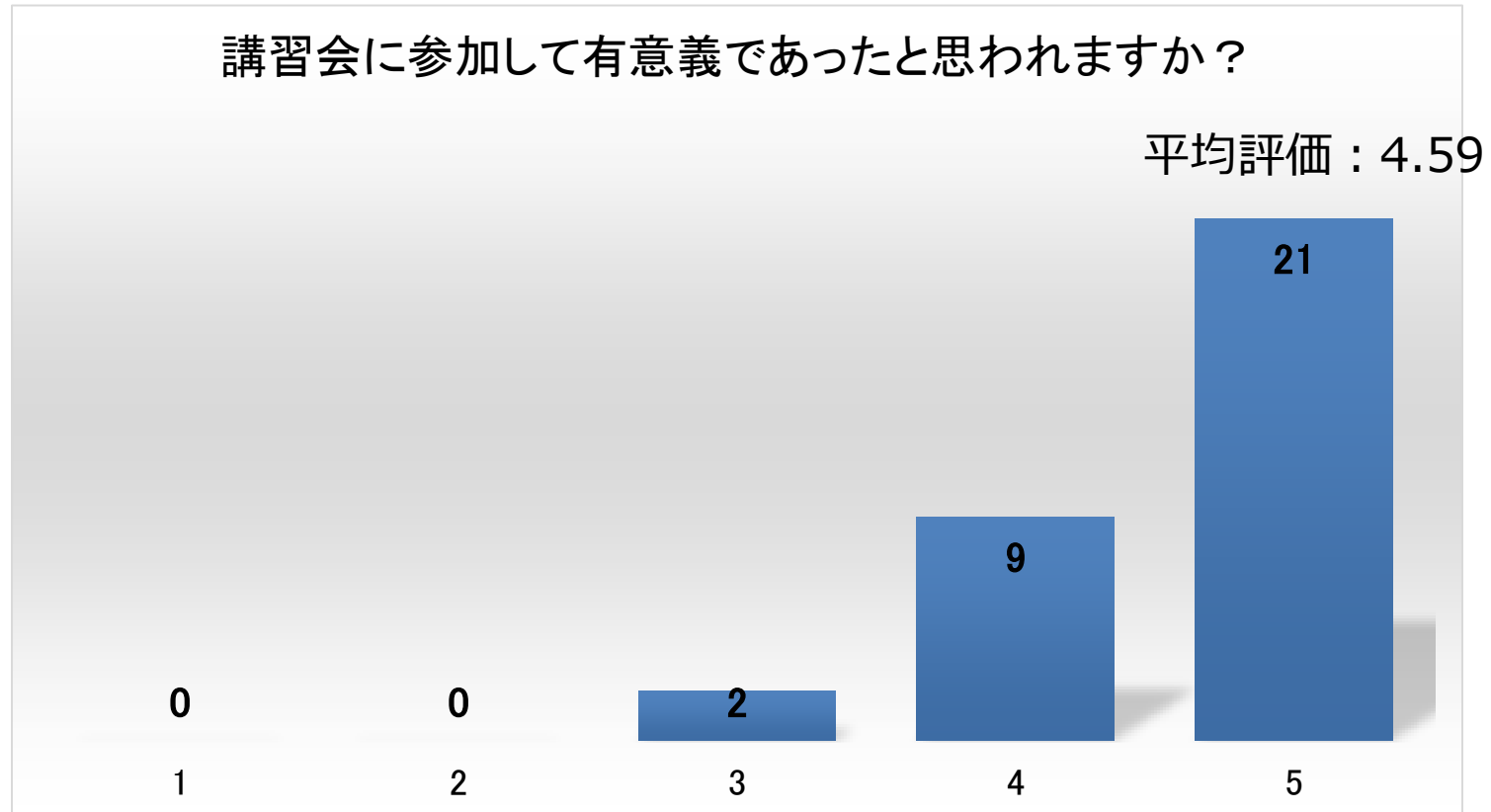
有効回答数  
32名



## トピックス

- 参加者の8割以上が40歳未満の若手
- 企業参加者が約7割以上

# 講習会の意義

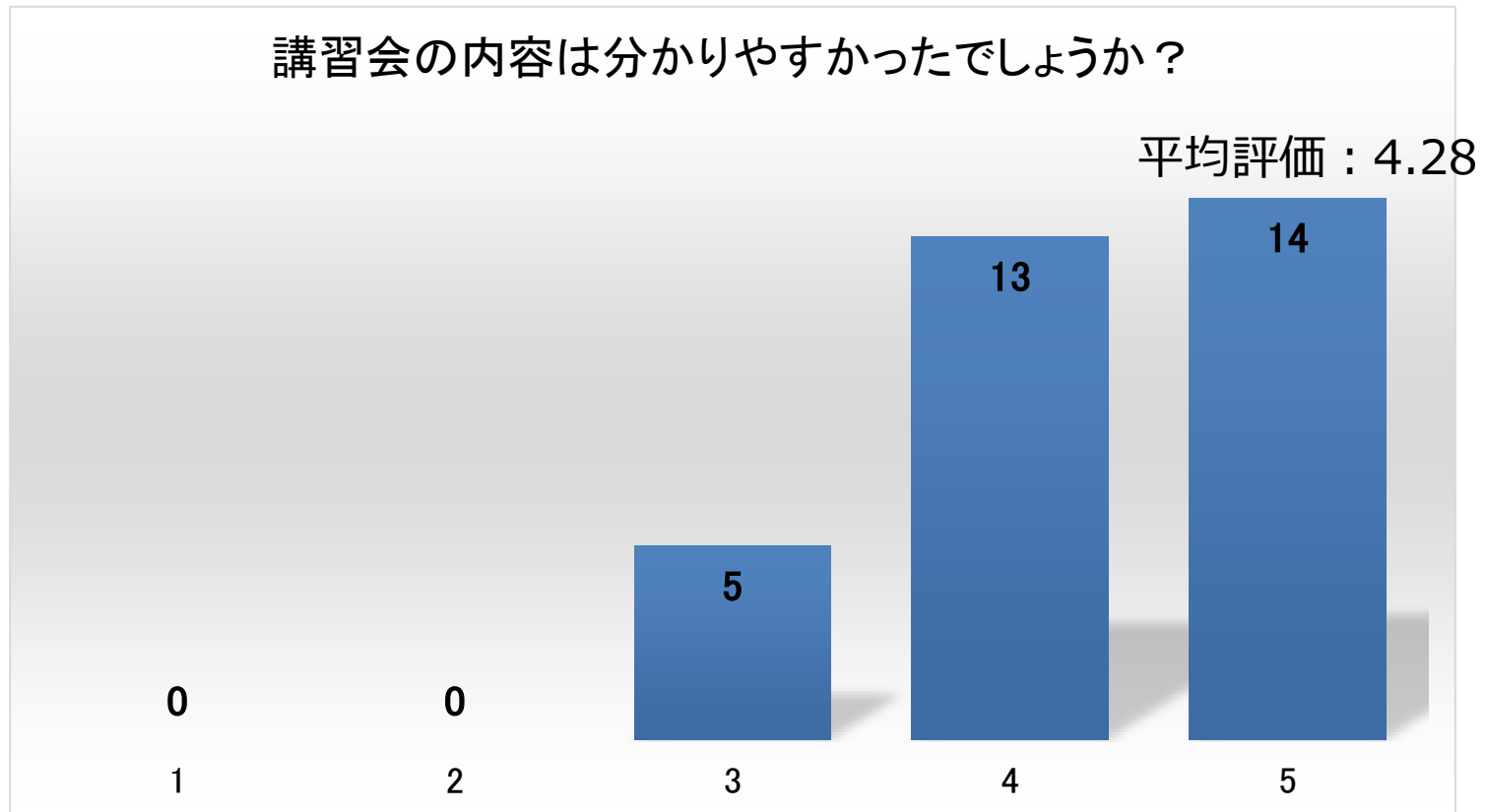


## トピックス

- 回答者の約9割が4以上の高評価
- 多くの受講者にとって、有意義な講習会になった



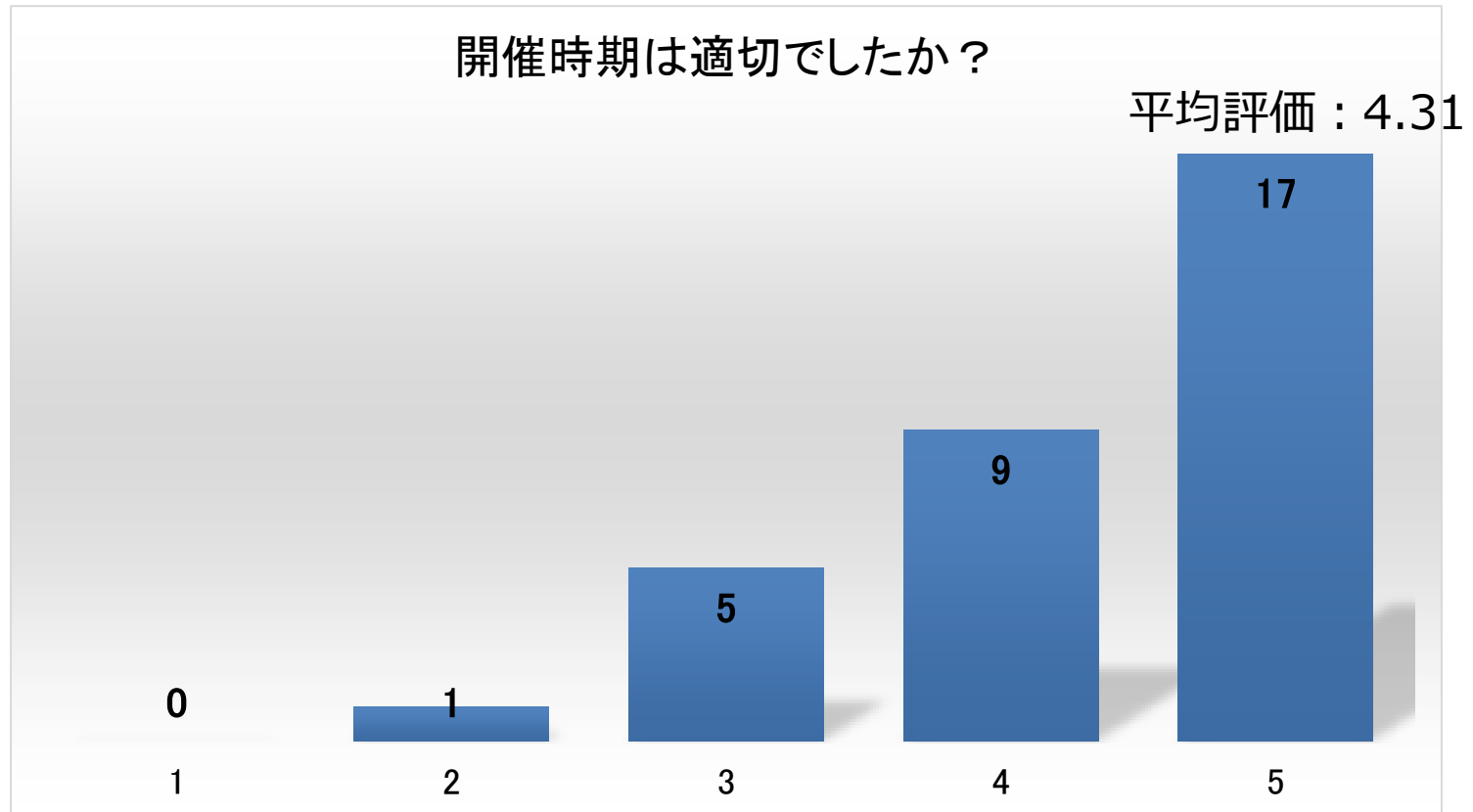
# 講習会内容について



## トピックス

- 回答者全員で3以上の高評価
- バラつきについては受講者のバックグラウンドの差と想定

# 開催時期について



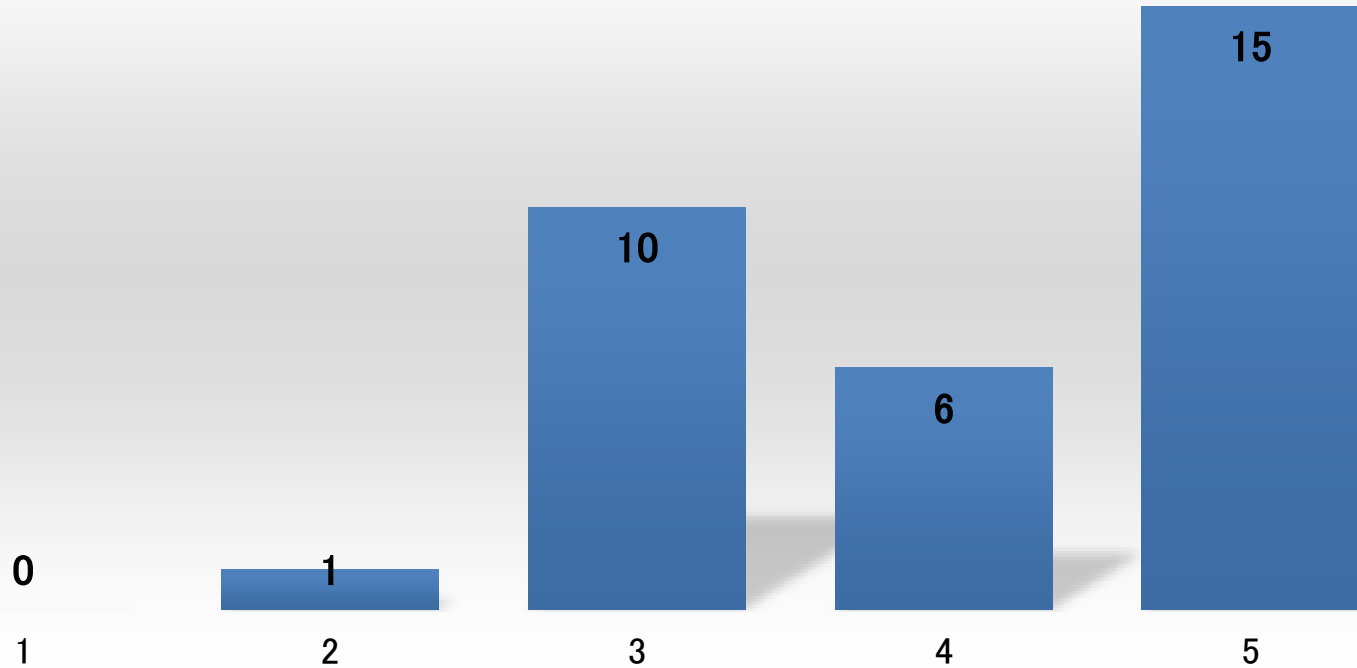
## トピックス

- 回答者全員で9割は3以上の高評価
- 結果から、開催時期は適切であったと考えられる

# 講義内容のバランス

基礎・応用の(分量の)バランスは良かったと思いますか？

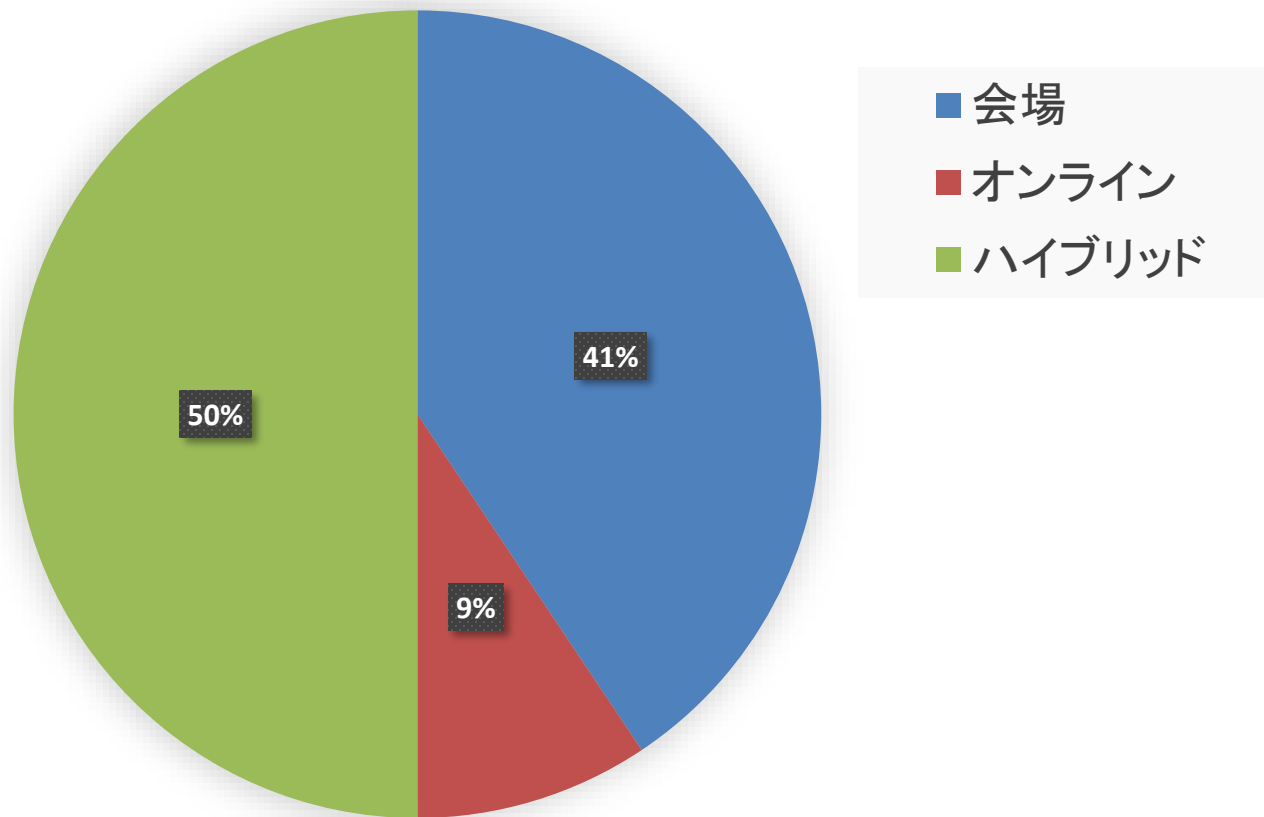
平均評価：4.09



## トピックス

- 回答者全員で9割は3以上の高評価
- 結果から、基礎・応用のバランスは適切であったと考えられる
- 2の評価について狭く深い講演を聞きたいという意見

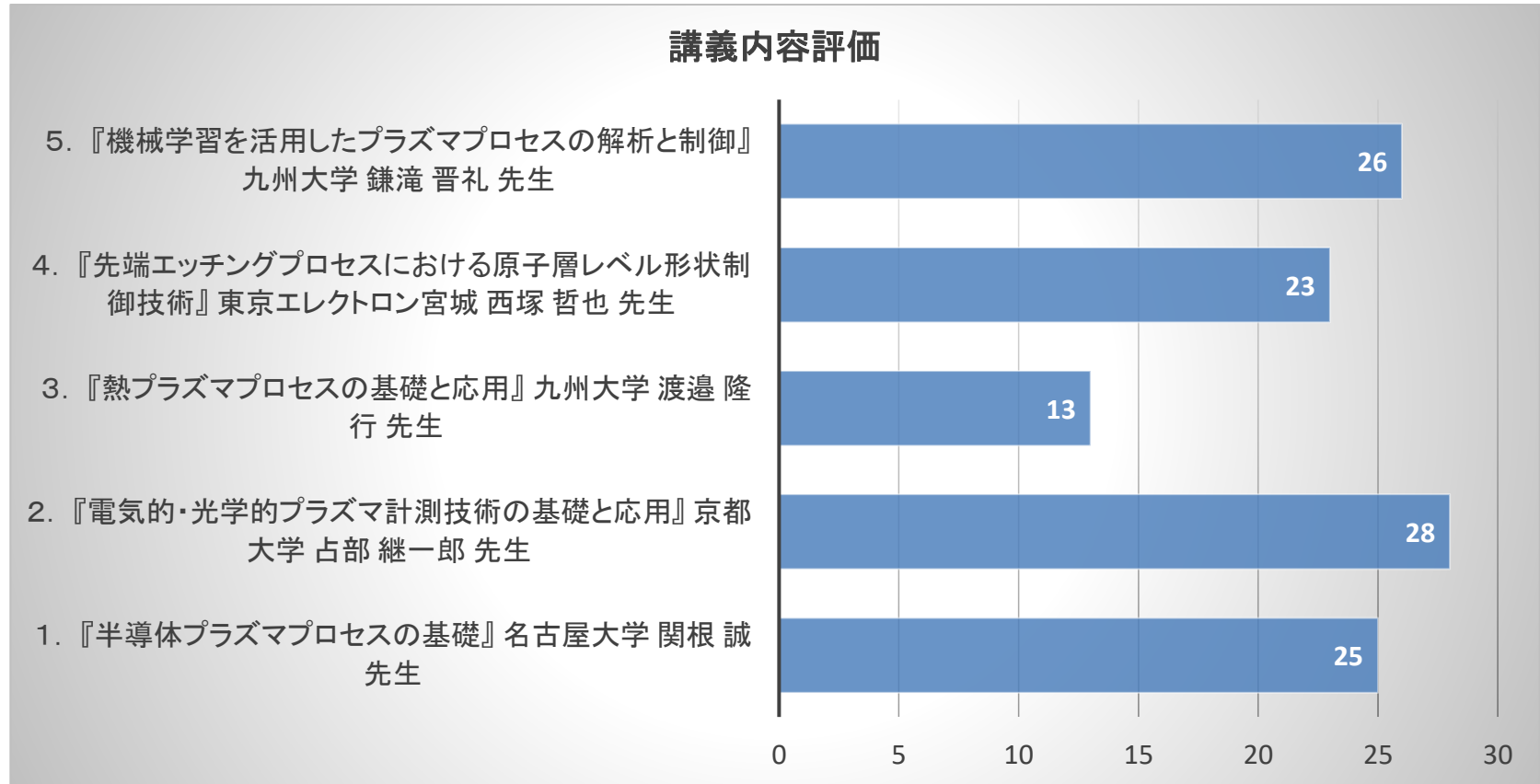
# 今後の開催形式



## トピックス

- 現地開催のみとしたせいか会場参加がオンラインを上回る。
- とはいえ、開催場所と都合の関係から50%がハイブリッドを希望する声があった。
- ハイブリッドは運営の負荷が増大するため要検討

# 興味深かった講義（複数回答）



## トピックス

- プラズマの基礎的な部分やアプリケーションについて評価が高い。
- 熱プラズマの講義評価が他と比較して低めであった。  
→今回の参加者は低温プラズマを扱う企業の方が多かったことが要因か。

# 回答理由

| ID | 回答   | 所属               |
|----|--|------------------|
| 1  | プラズマの基礎および今の応用技術の講演が聞けたこと                      | 企業<br>(デバイスメーカー) |
| 2  | 自分の業務に直結する内容であった                               | 企業<br>(装置メーカー)   |
| 3  | 実務に関連しており参考になった。                               | 公立研究機関           |
| 4  | 理解できる部分があったため。                                 | 企業<br>(装置メーカー)   |
| 5  | 現在の業務と関わりがありながらも、<br>学習する機会があまりなかったテーマだったため。   | 企業<br>(装置メーカー)   |
| 6  | 自分の研究に関連する話だったため                               | 企業<br>(装置メーカー)   |
| 7  | 自分の研究テーマに関連が深い。                                | 教職員              |
| 8  | OESの取り扱いなどは自分も難しいと感じていた点が共有できた。                | 企業<br>(デバイスメーカー) |
| 9  | 低温プラズマを扱っているエンジニアとして、<br>今後の業務に活かせる内容であったためです。 | 企業<br>(装置メーカー)   |

## トピックス

- ・ 受講者の研究内容や業務内容に近いものは興味を抱きやすい。
- ・ 開催地によって参加される企業の方の特性が変わるため、講義内容検討時に参考とする

# 次回以降取り上げてほしいテーマ

| ID | 回答                               | 所属              |
|----|----------------------------------|-----------------|
| 1  | 単結晶SiO <sub>2</sub> のエッチングに関すること | 企業<br>(デバイスメーカ) |
| 2  | 機械学習 AI                          | 企業<br>(装置メーカ)   |

## トピックス

- 多くの意見は頂けなかったが業務内容に近い講義が望まれている。
- 機械学習とプラズマに関するテーマは2年連続で取り上げており、  
昨今参加者の関心が高いと考えられる



# 運営へのコメント

| ID | 回答  | 所属              |
|----|---|-----------------|
| 1  | 年末に近い時期の開催だったので、11月半ばの開催を希望しております。  | 教職員             |
| 2  | タイムテーブルを事前に知りたいです。  | 公立研究機関          |
| 3  | プログラムで、各講演の詳細な時間が分かると良いです。  | 教職員             |
| 4  | こういった講演は狭く深い内容の方が関心を引くと考えた。   | 企業<br>(デバイスメーカ) |
| 5  | 可能であればテキストは事前に郵送いただけると助かります。参加前に内容を確認して講義を聞けるとより踏み込んだ議論ができるように思いました。ぜひご検討いただければと思います。 | 企業<br>(装置メーカ)   |

## トピックス

- 開催時期やタイムテーブル等に対するコメントを頂く  
→来年度以降参考にしていきたい

# 来年度以降に向けて

## アンケート

有効回答数:32※終了後にQRコードを投影したため回答しにくかったかもしれない。  
次回は参加者にアンケート用紙を配布及びメールでアンケートURLを送付(後日リマインド)しておく方が回答数を増やせると思う。

## 参加者

- 東京開催ということもあり、関東及び東北の企業の方の参加が目立った。
- 当日は会議室一杯の大盛況。オンライン開催の声も一定数あるが、都心開催時は現地開催のみでも良いと考えらえる
- 講習会の内容は高評価
  - 参加が想定される分野に近いと高評価を得られやすい
  - 一方、敢えて異なる分野を含めることも知見を広める意味では重要

## 運営としての課題

- プログラムやテキストの事前共有
- 開催時期の選定
  - 例年11月半ば開催であったが、今回はDPSがあったため下旬に。最適な時期は引き続き考えていく必要がある。



|    | 記事            | テーマ   |                    |             | メモ                              |
|----|---------------|---|--------------------|-------------|---------------------------------|
|    |               |   | 所属                 | 氏名（敬称略）     |                                 |
| 1  | 巻頭言           |   |                    |             | 古閑 一憲先生に紹介者に打診中                 |
| 2  | 寄稿            | 放電・プラズマ研究の科学技術史                                       | 慶応義塾大学、京都大学、名古屋大学  | 真壁利明、橋 邦英、後 | 内諾済                             |
| 3  | 学生のためのページ     | 大気圧プラズマの応用  | 九州大学               | 中野晃俊        | 内諾済                             |
| 4  | 研究室紹介         |   |                    |             | 打診中                             |
| 5  | 海外の研究事情       |   |                    |             | 掲載なし                            |
| 6  | 研究紹介          | カーボンナノチューブのプラズマ表面処理の研究                                | 中部大学               | 小川 大輔       | 内諾済                             |
| 7  | プラズマエレクトロニクス賞 | 未定（春季応物期間中に発表）  | 未定                 | 未定          |                                 |
|    |               | 未定（春季応物期間中に発表）  | 未定                 | 未定          |                                 |
| 8  | 応用物理学会講演奨励賞   | F2/Ar/H2ガス系を用いたSiO2膜のクライオエッチングにおける反応メカニズム解明           | キオクシア              | 加藤 有真       | 打診中                             |
| 9  | 国際会議報告        | ISPlasma2025/IC-PLANTS2025                            | 岐阜大学               | 上坂 裕之       | 2025年3月3～7日開催（名古屋）内諾済           |
| 10 | 国内会議報告        | 2025年 第72回応用物理学会春季学術講演会 チュートリアル                       | 日立製作所              | 松井 都        | 2025年3月14日開催（東京理科大、オンライン）内諾済    |
|    |               | 2025年 第72回応用物理学会春季学術講演会 プラズマエレクトロニクス分科会企画             | 名古屋大学              | 石川先生        | 2025年3月14～17日開催（東京理科大、オンライン）内諾済 |
|    |               | 第45回プラズマ新領域研究会「プラズマ・微粒子間相互作用の揺らぎのフロンティア」              | 九州大学               | 古閑 一憲       | 2025年1月16～17日開催（岐阜県土岐、オンライン）内諾済 |
|    |               | 第7回 Atomic Layer Process (ALP) Workshop               | 大阪大学               | 浜口 智志       | 2024年7月12日開催（東京大学 駒場）内諾済        |
| 11 | 行事案内          | 2025年 第86回応用物理学会秋季学術講演会                               | 名古屋大学              | 石川先生        | 2025年9月7～10日開催（名古屋）内諾済          |
|    |               | DPS2025 (46th International Symposium on Dry Process) | 日立製作所              | 栗原 優        | 2025年11月13～14日開催（愛媛）内諾済         |
|    |               | 第19回プラズマエレクトロニクスインキュベーションホール                          | 名古屋大学              | 石川先生        | 開催日未定 内諾済                       |
| 14 | 掲示板           | 2025年度(令和7年度) プラズマエレクトロニクス分科会幹事名簿                     | ソニーセミコンダクタソリューションズ | 財前 義史       |                                 |
|    |               | 2025年度(令和7年度) 分科会幹事役割分担                               | ソニーセミコンダクタソリューションズ | 財前 義史       |                                 |
|    |               | 2025年度(令和7年度) 分科会関連の各種世話人・委員                          | ソニーセミコンダクタソリューションズ | 財前 義史       |                                 |
|    |               | 活動報告(会議議事録)   | ソニーセミコンダクタソリューションズ | 財前 義史       |                                 |
|    |               | プラズマエレクトロニクス関連会議日程                                    | ソニーセミコンダクタソリューションズ | 財前 義史       |                                 |
|    |               | 広告掲載企業一覧  | ソニーセミコンダクタソリューションズ | 財前 義史       |                                 |
|    |               | 編集後記  | ソニーセミコンダクタソリューションズ | 財前 義史       |                                 |



応用物理学会

プラズマエレクトロニクス  
分科会 Plasma Electronics  
Division

# プラズマエレクトロニクス分科会 インフォーマルミーティング2025年3月15日

古閑 一憲

5. 第23回プラズマエレクトロニクス賞選考について



応用物理学会  
**プラズマエレクトロニクス  
分科会** Plasma Electronics  
Division

# 5. 第 23 回プラズマエレクトロニクス賞 選考について

2025 年 3 月 15 日

(公社) 応用物理学会  
プラズマエレクトロニクス分科会  
幹事長 白藤 立

第 23 回「応用物理学会プラズマエレクトロニクス賞」(2024 年度)の選考結果について

第 23 回「応用物理学会プラズマエレクトロニクス賞」(2024 年度)について、以下の選考結果を得ましたので、ご報告申し上げます。

## 1. 選考委員会委員 (順不同, 敬称略)

選考委員長: 近藤 博基 (九州大学)

選考委員: 占部 継一郎 (京都大学), 竹田 圭吾 (名城大学),  
伊藤 剛仁 (東京大学), 豊田 浩孝 (名古屋大学),  
市来 龍大 (大分大学), 大場 富仁 (ラム・リサーチ),  
高橋 克幸 (岩手大学)

## 2. 選考の経過

第 23 回「応用物理学会プラズマエレクトロニクス賞」の公募を行ったところ、応募の締め切り期日までに、自薦・他薦からなる 6 件の応募論文があった。これらについて、幹事長から委嘱して発足した上記の選考委員会において選考が行われた。

一次選考では、以下の項目に関して各選考委員がすべての論文に対して審査を行い、全委員からの一次選考結果を集計した。

1. 受賞対象論文としての適合性,
2. 項目別評価 (独創性, 将来における発展性, インパクト, 論文としての完成度と理解のしやすさ),
3. 総合的評価

一次選考の集計結果と、各論文に対する各委員のコメントを無記名にて選考委員会で共有し、二次選考がオンラインで行われた。一次選考の結果、今回応募された論文の多くが質の高い論文であったものの、応募総数が 6 件にとどまったことを鑑み、応用物理学会プラズマエレクトロニクス賞に推薦可能な論文として、1 編を選定する方針とした。また各論文の背景や特徴、意義、評価ポイントについて、総合的に議論を行った結果、下記の選考結果に示す 1 編の論文が応用物理学会プラズマエレクトロニクス賞に相応しいとの合意に至った。

## 3. 選考結果

厳正なる審査・審議の結果、選考委員会は以下の 1 編の論文が第 23 回応用物理学会プラズマエレクトロニクス賞にふさわしいと判断した。

対象論文 1: Extension of ion-neutral reactive collision model DNT+ to polar molecules based on average dipole orientation theory,  
Journal of Vacuum Science and Technology A 42, 053002 (2024)

著者: Kazuki Denpoh, Taiki Kato, Masaaki Matsukuma

受賞者: 伝宝 一樹, 松隈 正明, 加藤 大輝 (予定)

選考理由: 本論文では、著者らがこれまでに開発し、当該分野での活用が進んでいるプラズマシミュレーションにおけるイオン-分子間衝突の吸熱反応衝突モデル (通称 Denpoh-Nanbu theory (DNT)) を極性分子にも拡張し、全ての分子タイプ (原子, 無極性分子, 極性分子) に対応可能なイオン-分子間衝突モデル (DNT+DM) に発展し、モデルを完結させた。また  $\text{H}_2\text{O}^+-\text{H}_2\text{O}$  衝突や  $\text{CF}_3^+-\text{CO}$  衝突の計測結果と一致することを示し、その妥当性を証明している。これらにより、プラズマシミュレーションにおける学術的基盤としての重要性のみならず、今後のプロセスプラズマのモデル化において産業的にも高い有用性を有し、今後のプラズマプロセス技術の発展に寄与しうる応用物理学会プラズマエレクトロニクス賞を授与するに相応しい論文である。

## 伝宝様他おめでとうございます！ 秋に授賞式と講演を行います。

- ・ 6 件の応募 → 1 件推薦
- ・ 選考委員長の若返り
- ・ より多くの応募



応用物理学会

プラズマエレクトロニクス  
分科会 Plasma Electronics  
Division

# プラズマエレクトロニクス分科会 インフォーマルミーティング2025年3月15日

古閑 一憲

## 6. 2024年度決算報告





# 6. 2024年度決算報告

当期黒字決算約94万円

## 正味財産増減計算書内訳表

2024年 1月 1日から2024年12月31日まで

公益社団法人応用物理学会

(単位：円)

| 科 目          |  | ﾌﾞﾗｽﾞﾏ ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ分科会        |                 |              |                        |               |           |             |             |                | 合計                               |
|--------------|--|---------------------------|-----------------|--------------|------------------------|---------------|-----------|-------------|-------------|----------------|----------------------------------|
|              |  | ﾌﾞﾗｽﾞﾏ 公1                 |                 |              |                        |               |           | ﾌﾞﾗｽﾞﾏ 会誌事業 | ﾌﾞﾗｽﾞﾏ 表彰事業 | ﾌﾞﾗｽﾞﾏ 分科会共通事業 |                                  |
|              |  | ﾌﾞﾗｽﾞﾏ ｲﾝｷｭﾍﾞｰｼｮﾝﾈｯﾄﾜｰｸ事業 | ﾌﾞﾗｽﾞﾏ 新領域研究会事業 | ﾌﾞﾗｽﾞﾏ 講習会事業 | ﾌﾞﾗｽﾞﾏ ﾌﾟﾛｾｯｼﾝｸﾞ 研究会事業 | ﾌﾞﾗｽﾞﾏ 国際会議事業 | 小計        |             |             |                |                                  |
| I 一般正味財産増減の部 |  |                           |                 |              |                        |               |           |             |             |                |                                  |
| 1. 経常増減の部    |  |                           |                 |              |                        |               |           |             |             |                |                                  |
| (1) 経常収益     |  |                           |                 |              |                        |               |           |             |             |                |                                  |
| 受取会費         |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 0           | 0           | 1,474,000      | 1,474,000                        |
| 法人会員受取会費     |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 0           | 0           | 128,000        | 128,000                          |
| 賛助会員受取会費     |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 0           | 0           | 128,000        | 128,000                          |
| 準会員受取会費      |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 0           | 0           | 1,346,000      | 1,346,000                        |
| 分科会受取会費      |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 0           | 0           | 1,346,000      | 1,346,000                        |
| 事業収益         |  | 746,640                   | 0               | 2,079,260    | 1,701,000              | 0             | 4,526,900 | 0           | 0           | 196,632        | 4,723,532                        |
| 参加費収益        |  | 746,640                   | 0               | 1,738,260    | 1,301,000              | 0             | 3,785,900 | 0           | 0           | 196,632        | 3,982,532                        |
| 参加費収益        |  | 746,640                   | 0               | 1,738,260    | 1,091,000              | 0             | 3,575,900 | 0           | 0           | 196,632        | 3,772,532                        |
| 懇親会参加費収益     |  | 0                         | 0               | 0            | 210,000                | 0             | 210,000   | 0           | 0           | 0              | 210,000                          |
| 広告料収益        |  | 0                         | 0               | 341,000      | 400,000                | 0             | 741,000   | 0           | 0           | 0              | 741,000                          |
| 他事業受入収益      |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 0           | 0           | 224,500        | 224,500                          |
| 補助金収益        |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 0           | 0           | 224,500        | 224,500                          |
| 経常収益計        |  | 746,640                   | 0               | 2,079,260    | 1,701,000              | 0             | 4,526,900 | 0           | 0           | 1,895,132      | 6,422,032 ←①当期収入合計               |
| (2) 経常費用     |  |                           |                 |              |                        |               |           |             |             |                |                                  |
| 事業費          |  | 1,355,810                 | 292,311         | 749,469      | 1,450,619              | 0             | 3,848,209 | 533,468     | 51,700      | 1,046,966      | 5,480,343                        |
| 給料手当         |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 0           | 0           | 774,076        | 774,076                          |
| 臨時雇賃金        |  | 0                         | 0               | 0            | 81,600                 | 0             | 81,600    | 0           | 0           | 60,000         | 141,600                          |
| 退職給付費用       |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 0           | 0           | 63,678         | 63,678                           |
| 福利厚生費        |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 0           | 0           | 133,686        | 133,686                          |
| 社会保険料        |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 0           | 0           | 133,686        | 133,686                          |
| 会議費          |  | 336,140                   | 0               | 47,020       | 588,000                | 0             | 971,160   | 0           | 0           | 0              | 971,160                          |
| 会合費          |  | 186,140                   | 0               | 47,020       | 108,000                | 0             | 341,160   | 0           | 0           | 0              | 341,160                          |
| 懇親会費         |  | 150,000                   | 0               | 0            | 480,000                | 0             | 630,000   | 0           | 0           | 0              | 630,000                          |
| 旅費交通費        |  | 409,070                   | 120,479         | 158,027      | 0                      | 0             | 687,576   | 0           | 0           | 11,016         | 698,592                          |
| 国内旅費交通費      |  | 409,070                   | 120,479         | 158,027      | 0                      | 0             | 687,576   | 0           | 0           | 11,016         | 698,592                          |
| 会誌発送費        |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 253,658     | 0           | 0              | 253,658                          |
| 国内会誌発送費      |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 253,658     | 0           | 0              | 253,658                          |
| 通信運搬費        |  | 0                         | 0               | 7,800        | 0                      | 0             | 7,800     | 0           | 0           | 0              | 7,800                            |
| 国内通信運搬費      |  | 0                         | 0               | 7,800        | 0                      | 0             | 7,800     | 0           | 0           | 0              | 7,800                            |
| 消耗品費         |  | 0                         | 0               | 3,099        | 7,521                  | 0             | 10,620    | 0           | 51,700      | 0              | 62,320                           |
| 委託費          |  | 0                         | 0               | 0            | 478,060                | 0             | 478,060   | 0           | 0           | 0              | 478,060                          |
| 印刷費          |  | 0                         | 0               | 58,958       | 0                      | 0             | 58,958    | 0           | 0           | 3,520          | 62,478                           |
| 会誌印刷製本費      |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 279,260     | 0           | 0              | 279,260                          |
| 印刷代          |  | 0                         | 0               | 0            | 0                      | 0             | 0         | 279,260     | 0           | 0              | 279,260                          |
| 賃借料          |  | 439,200                   | 0               | 298,100      | 294,888                | 0             | 1,032,188 | 0           | 0           | 0              | 1,032,188                        |
| 諸謝金          |  | 127,384                   | 167,322         | 89,785       | 0                      | 0             | 384,491   | 0           | 0           | 0              | 384,491                          |
| 支払手数料        |  | 44,016                    | 4,510           | 86,680       | 550                    | 0             | 135,756   | 550         | 0           | 990            | 137,296                          |
| 振込手数料        |  | 6,600                     | 4,510           | 2,200        | 550                    | 0             | 13,860    | 550         | 0           | 990            | 15,400                           |
| 収納手数料        |  | 37,416                    | 0               | 84,480       | 0                      | 0             | 121,896   | 0           | 0           | 0              | 121,896                          |
| 経常費用計        |  | 1,355,810                 | 292,311         | 749,469      | 1,450,619              | 0             | 3,848,209 | 533,468     | 51,700      | 1,046,966      | 5,480,343 ←②当期支出合計               |
| 当期一般正味財産増減額  |  | △ 609,170                 | △ 292,311       | 1,329,791    | 250,381                | 0             | 678,691   | △ 533,468   | △ 51,700    | 848,166        | 941,689 ←③当期収支差額 (①-②)           |
| 一般正味財産期首残高   |  | △ 797,187                 | △ 510,137       | 5,995,616    | 2,081,098              | △ 5,259,871   | 1,509,519 | △ 1,928,111 | △ 203,808   | 16,798,174     | 16,175,774 ←④前期繰越収支差額 (前期残高)     |
| 一般正味財産期末残高   |  | △ 1,406,357               | △ 802,448       | 7,325,407    | 2,331,479              | △ 5,259,871   | 2,188,210 | △ 2,461,579 | △ 255,508   | 17,646,340     | 17,117,463 ←⑤次期繰越収支差額 (③+④次期繰越金) |





応用物理学会

プラズマエレクトロニクス  
分科会 Plasma Electronics  
Division

# プラズマエレクトロニクス分科会 インフォーマルミーティング2025年3月15日

古閑 一憲

## 7. 2025年度分科会幹事について



## 7. 2025年度分科会幹事について

**退任幹事の皆様ありがとうございます！**

**新任幹事の皆様どうぞよろしく願いいたします！**

役割分担は近日中にお知らせいたします。

新旧合同幹事会出席をお願いいたします。

### 2025年度幹事会メンバー

|      | 新任幹事 (2027年3月まで) |            | 留任幹事 (2026年3月まで) |                       |
|------|------------------|------------|------------------|-----------------------|
| 幹事長  |                  |            | 古閑 一憲            | 九州大学                  |
| 副幹事長 |                  |            | 石川 健治            | 名古屋大学                 |
|      |                  |            | 竹内 希             | 東京工業大学                |
|      |                  |            | 松井 都             | (株)日立製作所              |
| 幹事   | 浅井 宏祐            | 三菱電機株式会社   | 岩井 貴弘            | (株)日立製作所              |
|      | 金 大永             | 東京科学大学     | 内田 儀一郎           | 名城大学                  |
|      | 栗田 弘史            | 豊橋技術科学大学   | 呉 準席             | 大阪公立大学                |
|      | 榊田 創             | 名城大学       | 大下 辰郎            | 東京エレクトロン宮城(株)         |
|      | 佐藤 樹             | サンディスク     | 大島 多美子           | 長崎大学                  |
|      | 眞銅 雅子            | 大阪工業大学     | 片岡 淳司            | キオクシア(株)              |
|      | 高橋 克幸            | 岩手大学       | 田中 文章            | 石川工業高等専門学校            |
|      | 布村 正太            | 産業総合技術研究所  | 田中 学             | 九州大学                  |
|      | 針谷 達             | 岐阜大学       | 堤 隆嘉             | 名古屋大学                 |
|      | 東 直樹             | 北海道大学      | 長澤 寛規            | 広島大学                  |
|      | 柳生 義人            | 九州大学       | 新田 魁洲            | 産業技術総合研究所             |
|      | 山田 大将            | 長野工業高等専門学校 | 村上 朝之            | 成蹊大学                  |
|      |                  |            | 財前 義史            | ソニーセミコンダクタソリューションズ(株) |

|      | 退任幹事 (2025年3月まで) |                    |
|------|------------------|--------------------|
| 幹事長  |                  |                    |
| 副幹事長 |                  |                    |
|      |                  |                    |
|      |                  |                    |
| 幹事   | 谷出 敦             | 株式会社SCREENホールディングス |
|      | 清水 鉄司            | 産業技術総合研究所          |
|      | 佐々木 渉太           | 東北大学               |
|      | 田中 宏昌            | 名古屋大学              |
|      | 宗岡 均             | 東京大学               |
|      | 天野 智貴            | パナソニックホールディングス株式会社 |
|      | 伊藤 智子            | 大阪大学               |
|      | 富田 健太郎           | 北海道大学              |
|      | 全 俊豪             | 東京工業大学             |
|      | 平松 亮             | ウェスタンデジタル合同会社      |
|      | 川崎 仁晴            | 佐世保工業高等専門学校        |
|      | 塩田 有波            | 三菱電機株式会社           |
|      |                  |                    |



応用物理学会  
プラズマエレクトロニクス  
分科会 Plasma Electronics  
Division

# プラズマエレクトロニクス分科会 インフォーマルミーティング2025年3月15日

## 9. その他

- ・ DPS 2025 との共催について
- ・ ICRP12/SPP44開催案内他



応用物理学会  
**プラズマエレクトロニクス  
分科会** Plasma Electronics  
Division

## 9. その他

### ・DPS 2 0 2 5 との共催について

ドライプロセスシンポジウムより、  
応用物理学会プラズマエレクトロニクス分科会への共催開催のお願い

今年度のドライプロセスシンポジウムの組織委員長を務めております、東京エレクトロン宮城株式会社の本田昌伸と申します。

昨年同様、第 46 回ドライプロセスシンポジウム (DPS2025) をプラズマエレクトロニクス分科会の共催としてご承認いただきたく、下記の事項をご確認の上、ご承認いただけますようお願い申し上げます。何卒宜しくお願い申し上げます。

#### 1. 会議概要

主催：ドライプロセスシンポジウム組織委員会

会議名：46th International Symposium on Dry Process(DPS2025)

会期：2025 年 11 月 13 日～2025 年 11 月 14 日

会場：松山市立 子規記念博物館

#### 2. 役割分担

ドライプロセスシンポジウム組織委員会は、同国際会議の運営全般を行う。応用物理学会プラズマエレクトロニクス分科会は、ホームページでの広報、応用物理学会のロゴの貸与、秋季学術講演会における所定の場所でのチラシ設置、その他、必要に応じて、適宜ドライプロセスシンポジウムの運営の支援を行う。また、ドライプロセスシンポジウムの HP に、共催名として（公社）応用物理学会 プラズマエレクトロニクス分科会名を記載する。

#### 3. 予算

収入：9,000,000 円、支出：9,000,000 円

#### 4. 著作権

第 46 回ドライプロセスシンポジウムに投稿されたプロシーディングスの著作権は、ドライプロセスシンポジウム組織委員会に帰属し、ドライプロセスシンポジウム組織委員会が責任をもって管理を行う。

#### 5. 会員への優遇措置

事前申し込みの一般参加費 35,000 円を応物会員の場合は 30,000 円とし、当日申し込みの一般参加費 40,000 円を応物会員の場合は 35,000 円とする。

宜しくお願い申し上げます。





応用物理学会

プラズマエレクトロニクス  
分科会 Plasma Electronics  
Division

## 9. その他

### ・ICRP12/SPP44開催案内

# ICRP12/SPP44

12th International Conference on Reactive Plasmas  
44th Symposium on Plasma Processing

30 November-3 December 2026  
KANAZAWA BUNKA HALL

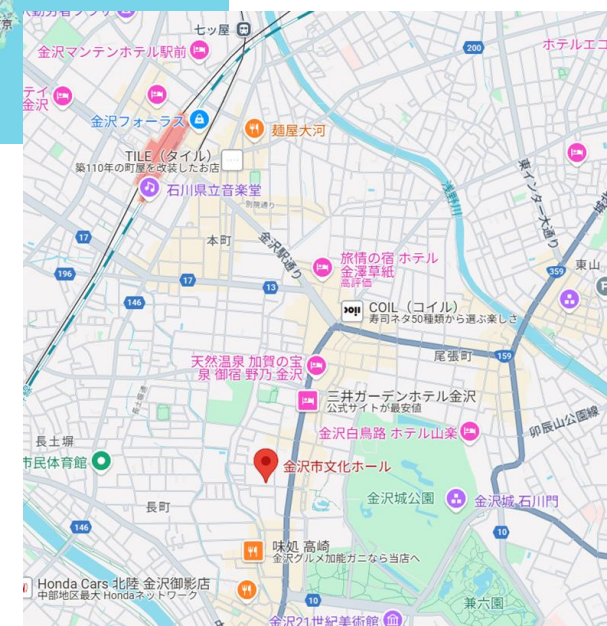
皆様奮ってご参加ください！！

開催期間：

2026年11月30日から12月3日

開催場所：

金沢市文化ホール







応用物理学会

# プラズマエレクトロニクス 分科会 Plasma Electronics Division



# ICPIG 36<sup>th</sup> edition

20<sup>th</sup> – 25<sup>th</sup> July 2025 Aix-en-Provence France

- Local chair: G. Cartry (amU)
- Co-chairs: M. Minissale, L. Couedel (CNRS)
- ISC chair: S. Nijdam (TU/e)



The International Conference on Phenomena in Ionized Gases is covering all aspects of low-temperature plasmas: fundamentals of plasma physics, simulation and diagnostics, all plasma sources and discharge regimes, applications

- ✓ 36 Oral contributions
- ✓ 4 poster sessions
- ✓ 5 General invited lectures
- ✓ 26 Topical invited lectures



Aix-en-Provence

Convenient access:

- Marseille International airport
- 3h train from Paris

## 9th Asia-Pacific Conference on Plasma Physics AAPPS-DPP2025 21-26, Sept., 2025, Fukuoka International Congress Center Fukuoka, Japan



## 第35回 日本MRS年次大会

- 2025年11月10日(月)～12日(水)
- 北九州国際会議場・西日本総合展示場
- 主催: 日本MRS

未来を創造する材料技術 –マテリアルズイノベーションへの挑戦–

ホーム

HOME

開催概要

About

プログラム

Program

登録

Registration

お問い合わせ

CONTACT



引する材料科学の重要性はますます高まっています。本会議では、持続可能な「イノベーションの役割」に焦点を当て、多様な分野の研究者や未来を担う学生が一堂に集って議論します。エネルギー・環境、半導体デバイス、生体・医療など急速に変化する材料の探索・新機能の開拓・新プロセスの創出に関わる多岐にわたるテーマを扱うための新たなアイデアやコラボレーションが生まれ、産業の活性化および地域社会の発展に貢献します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

シンポジウム公募開始！  
提案書はこちらから

日本MRS入会受付

事務局

〒231-0006

神奈川県横浜市中区南仲通3-35

横浜エグゼレントⅢ 4F-D1

FAX: 045-263-8539

E-mail: meeting2025@mrs-j.org